

せ政 第2000003号
平成20年10月17日

国土交通省道路局長 様

せたな町長 高 橋 貞 光

今後の道路行政についての意見・提案の提出について（回答）

平成20年9月19日付国道企第37号で依頼のありました標記の件につきまして、
別紙のとおり回答いたします。

〔 担当：政策調整課まちづくり推進係長 濱登幸恵
TEL：0137-84-5111 （内線 1221） 〕

今後の道路行政についての意見・提案

様式①

①道路行政全般について改善すべき点、要望や提案など

北海道せたな町

○現行の道路事業に係る国庫補助の採択基準では、その殆どが費用対効果 (b/c) を厳しく求められ、当町のような過疎化が進み都市部に人口が流出傾向にある自治体が、道路整備事業の要望をしようとする場合において、その採択基準に合致しない条件が多すぎる状況にあります。

したがって、地域住民から要望のある生活に密着した道路等の整備については、都市と地方の地域格差是正のためにも国民が必要としている生活道路を取り込める補助基準の見直しについて要望いたします。

一方道路の維持管理については、交通安全の確保と生活環境保持の面で、地域住民から特に強く要望のある道路の除草作業について、必要最低限の予算が確保できるよう特段の配慮を願いたい。

○現状

地域医療について各自治体様々な問題を抱えています
が、当町においては第２次・第３次医療機関（八雲町・
函館市）への救急搬送のための道路整備について要望し
ているところです。

現在地域医療においては、広域連携化の検討について北
海道からも示されており、病院から診療所への医療体制
の再編を検討している自治体が多い中、当町はそれに先
駆け平成 19 年 4 月 1 日に 2 町立病院・1 診療所から 1 町
立病院・2 診療所（無床）へと医療体制の再編を実施し
ました。

このことから、第２次・第３次医療機関（八雲町・函
館市）への救急搬送のための重要路線の整備については、
更にその重要性が高まり急務となっているところであり
ます。

○課題

救急搬送の重要路線である道道八雲北檜山線は、急勾配・急カーブが多い構造となっておりますが、道路構造令などによる構造基準に達しており曲線半・縦断勾配等について設計基準地を満たしているため道路規格の格上げが必要とのことであり、またそれについても現在の交通量では採択が厳しいとされております。

人命尊重の観点から、第２次・第３次医療機関での一刻も早い救急医療体制を整備する必要があり、また本路線は住民の日常生活での利用頻度が非常に高いことから、冬期間の安全で快適な道路交通を確保するためにも、線形改良を要望しているところです。

○せたな町総合計画の基本計画では「健やかに暮らせる福祉のまち」を第１の基本目標とし掲げています。
当町では健康であることが、町民が明るく充実した生活を送る基本であると考え、健康管理や健康づくり、また各種病気の予防対策の充実に努めています。
特に１町立病院・２診療所を中心に、他の医療機関と連携した医療サービスを提供し、今後も予防対策の充実に努めながらも、重症患者の対応を迅速に行なう体制作りを進める必要があり、第２次・第３次医療機関の救急搬送体制については重要路線の整備が必要であります。
当町の将来像のテーマは「みんなの笑顔と力で創ろう、未来の「せたな」。～共に力を合わせ安心して暮らせまちづくり～」であります。町民とともに策定いたしました総合計画は、町民の声であり救急患者の搬送についての整備により「安心してらせるまち」を目指しております。

今後の道路行政についての意見・提案

③道路施策の重点事項（代表事例、期待する効果や評価等）

様式④

北海道せたな町

○重点事項 ・地域活力の向上 ・総合的な交通安全及び危機管理の強化	○代表事例 ・渡島半島横断道路 ・八雲北檜山線 ・北檜山大成線 ・瀬棚港線	○期待する効果や評価等 ・将来北海道新幹線が開通することにより、道央と日本海地域の交流・連携強化、物流の促進及び観光産業の振興にとってますます重要な路線となり、更には自然災害の交通網確保としての効果が期待される。 ・②－１、②－２のとおり ・町民の日常生活の利便性や産業活動の向上を図り、町民の誰もが道路を安全・快適に利用できる道路整備となる。	○その他
---	---	---	-------------